

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)シブヘルスケアグループ江	階数	地上10階地下1階
建設地	大阪府吹田市広芝町	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域、江坂駅周辺特	平均居住人員	584 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,285 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年8月 予定	評価の実施日	2020年11月10日
敷地面積	1,803 m ²	作成者	株式会社久米設計大阪支社 小牧 実豊
建築面積	1,601 m ²	確認日	2020年11月10日
延床面積	12,727 m ²	確認者	株式会社久米設計大阪支社 小牧 実豊



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138)

②建築物の取組み 68% (46)

③上記+②以外の 68%

④上記+ 68%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.8

LR のスコア = 4.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項		
総合 グループ理念を建築に落とし込む事により明確なコンセプトのもと統一された全体計画を実現。開放的で快適な執務スペースを確保するとともに将来的な組織の変遷等に対応出来る様なフレキシブルな執務室を計画。また建築物の内内外を繋ぐ様に室内の仕上に木材を使用し、かつ室内から繋がるように緑地帯を計画することにより、自然が身近に感じられ、利用者の癒しにも配慮したオフィス計画とした。		その他 特に無し
Q1 室内環境 執務室には床吹き出し式の空調設備を採用し室内の温度環境に配慮した計画。ライトシェルフにより大空間にも自然光を取り入れられる工夫を凝らし、かつエコポイド上部のトップライトからセンターコア部まで自然光を取	Q2 サービス性能 ランチスペースやテラス等のリフレッシュスペースを確保し、利用者の心理性に配慮した計画。重要設備系統は発電機回路とすることにより停電時にも稼働可能。また4mを超えるゆとりある階高を有し設備更新にも配慮した計画と	Q3 室外環境(敷地内) 江坂エリア周辺に現存する樹種等を調査、選定の上植栽する計画とし、既存の生物環境へ配慮。また水面や高い緑被率を確保し、地表面温度の上昇を抑える計画とし敷地内の環境へ配慮した計画とした。
LR1 エネルギー 断熱材や開口部の性能を確保することにより高い外皮性能を有し、高効率機器の採用やBEMSを導入しエネルギーの使用状況の把握、管理に配慮した計画。また自然光の取り入れ等の自然エネルギーの活用にも努めた計画。	LR2 資源・マテリアル 省水型機器の採用や雨水利用により、水資源の保護に配慮した計画。また仕上材等にはリサイクル材の使用に努め非再生資源の使用量削減に努めた計画とした。	LR3 敷地外環境 雨水の利用により雨水排水量の抑制に努めた。自動車道路の幅を確保し敷地内で容易にすれ違える計画とし、接道道路への交通負荷を最小限に抑える様配慮した。また、派手な看板の設置等は避け、光害対策にも取り組み周辺環境へ配慮した計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0115

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)シップヘルスケアグループ江坂ビル新築工事						
		建設地	大阪府吹田市広芝町						
		用途/区分	事務所						
【評価結果】		CASBEE 総合評価					S		
①	CO2削減					4			
②	みどり・ヒート アイランド対策					4			
③	建物の断熱性					5			
④	エネルギー削減					5			
⑤	自然エネルギー直接利用					○			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						報告しない			
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.2	4		
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				4.0	4		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				4.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.7	5		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				4.0	○		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない		
その他									
		技術の名称			考慮事項				
先進的技術の導入									
特に配慮した事項									